



総合科学教育科 教授

戸田山みどり

Midori Todayama

私の研究対象は、主として英語圏の児童文学です。主として、というのは英語圏の文学一般および日本を含めた英語圏以外の児童文学も関心の対象だからです。また、英語教育に関連して、言語学、コミュニケーション論、社会学などにも興味があります。工業高等専門学校という理工系の職場になってからは、理系の英語を教える必要が生じ、また元々興味があったことから、科学技術と社会の関係について扱う科学技術社会論の学会に入り、少しずつですが話題についていけるように努力しています。

現在は、英語の授業のほか、日本語(国語)の科目としてのコミュニケーション論を担当し、論理的な文章を書くことや、国際的に活躍する人材にとって必要な多文化共生の観点からの授業を行っています。同時に、将来の技術者にとって必要不可欠な科学技術と社会の関係について、少しでも考えるきっかけとなるような内容を工夫しています。

授業で文学を読む機会はあまりありませんが、高専に勤務するようになってから演劇部の顧問として演劇の現場に関わるようになりました。集団でひとつの舞台作品をつくっていく経験は、いろいろな意味で人を成長させます。すべての学生を対象にすることは難しいと思いますが、コミュニケーション教育のひとつのあり方として、演劇教育をアカデミックな立場から評価をする必要性を感じています。

My Career

都内の大学を卒業後、高校の非常勤講師をしながら大学院に進学し、英米文学の修士号を取得しました。夫が名古屋の大学に就職したことから名古屋に転居。周辺の大学・短大で非常勤講師として主に英語を教えました。その傍ら、児童文学の学会などで発表を続けていましたが、英語教育についてあらためて学ぼうと思い、南山大学の英語教育研究科に再入学しました。さらに、続けて名古屋大学国際コミュニケーション研究科博士課程に進み、本来の研究テーマである児童文学(絵本)の日米英の受容比較に取り組みました。博士課程満期修了と同時に八戸高専に採用になり、家族を置いて単身八戸にやってきました。今ではここでの生活も15年を超えています。

My Work - Life Balance

高校・大学と美術系のサークルでした。最近絵を描くことはしていませんが、美術館へ行くことと建物を観るためのまち歩きが趣味といえます。本を読むこと、お芝居をみることは楽しみでもあります。頭の片隅には仕事の意識が残っています。